

クリプシュとは？



全米最古のオーディオブランドで創業65年の歴史を誇る。新ロゴにも描かれている超弩級のホーンスピーカーで一斉を風靡した。アメリカでは劇場で採用されるプロフェッショナルスピーカーとして、また家電量販店売上げランクでも、No.1のシェアを得ている実力派メーカーだ。

ライヴステージの臨場感

# 本格派 Bluetoothスピーカー クリプシュ KMC シリーズ 誕生!

アメリカを代表するプロフェッショナルブランド Klipsch (クリプシュ) から、渾身の Bluetooth スピーカー、KMC (クリプシュ・ミュージック・センター) シリーズが登場する。ライヴステージの臨場感を再現するために、構成は極限までシンプルに、とにかく音質にフォーカスして開発されたという意欲作。すべてのミュージックラヴァー必見のアイテムだ。

## 生き生きとした迫力のあるサウンド

クリプシュというブランドの輝かしい「これまで」を受け継ぎながら、私たちの「これから」を楽しくするアイテムが誕生した。コンパクトなワンボディの Bluetooth スピーカー、「KMC1」と「KMC3」だ。今回、注目したのは、よりコンパクトな「KMC1」。充電式バッテリーを内蔵しており、スマホなどから音楽をワイヤレスで好きな場所で楽しめる。NFCによるワンタッチ接続にも対応する。電源オン／オフ時にギターをかき鳴らす音がするギミックも楽しい。ドライバーは63.5mmのフルレンジ2基。さらにパッシブブラジエーターも備え、小型でも迫力ある低域の再生を狙った。Bluetooth接続でジャズギターを聴いてみた。すると、この小さなボディから、音楽が空中に大きく放たれてゆく。しかもリアリティがしっかりとある。ライヴハウスや中規模のホールで聴いているかのようだ。余韻もたっぷりしかもナチュラル。そして生き生きと音が弾むようなサウンド。だから、ライブやフェスなどを親しんでいる読者なら、きっと耳に馴染むに違いない。ふと、天面を眺めてみると、ロゴが刻印されているのを見つけた。これは、同社の歴史を支えて来た大型のホーンスピーカーに付けられているものと同じ。ここからも KMC シリーズに期待されているものの大きさが伺い知れる。(中林直樹)



Bluetooth 

投票 No.018

Klipsch  
**KMC1** ¥OPEN

コンパクトで持ち運びやすい Bluetooth スピーカー。63.5mm ドライバー2基、76.2mm パッシブブラジエーター2基を内蔵しており、サイズ以上の臨場感を実現する。バッテリー内蔵で連続駆動時間は約8時間。NFC や aptX にも対応する。外形寸法は 259W×109H×86Dmm。実勢価格は ¥32,340 前後。



Bluetooth 

投票 No.019

Klipsch  
**KMC3** ¥OPEN

ひとまわり大きくパワフルな Bluetooth スピーカー。aptX / AAC コーデックに対応。AC のほか、乾電池 (単一形8本) でも駆動できる。15W×2 のフルレンジスピーカーと 35W のサブウーファーを搭載。本体背面の USB 端子からスマホへの給電も可能だ。外形寸法は 432W×183H×140Dmm。実勢価格は ¥42,840 前後。